

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学新聞会
責任者 土本順子
新歓特別号

新聞会

その活動を一挙公開!

最後の秘境

新入生の皆さん、入学おめでとう。そして我が新聞会発行の東京薬科大学新聞新入生歓迎特別号を読んで下さりありがとうございます。さて、新聞会とはどのような機関であるのかをこの場を借りて簡単に説明しよう。

新聞会は、東京薬科大学自治会が設置する機関の一つであり、自治会内の活動や学生が興味を持っているであろうことを記事に選び、新聞を発行するのが仕事である。そのため、新聞会がほかの機関からの活動上の干渉を受けることがないよう、自治会の一機関ではあるが他の機関から独立して存在している。

では、在校生にもあまり知られていない我が新聞会の活動内容を紹介しよう。

1. 編集会議
毎週水曜午後一時、新聞会室に会員たちは集い、次号の新聞にはどんな記事を書けるか、誰がどの記事を担当するかなどを平和的に話し合っており、これをきき合った場合、とんでもない記事の担当にまわされる可能性があることは意外にもあまり知られていない。
2. 割り付け作業
おもに編集長が担当する仕事である。どこにどんな記事を持ってくるか、どれくらい記事を書くか、全体のバランスはいいか等。これが決定しないといくとも返筆であろうとも記事が完成しないので、担当者は迅速なる決断力と一定の編集会議出席率が要求される。
3. 記事の取材
美味や論議以外の記事にはたいいてい取材がつかものである。教授相手の取材などは学生課を通して約束を取り付けるのだが、取材日がのびのびに事もしばしば。あとで自分自身が苦労しないためには、前もっての取材の準備も必要である事は言うまでもない。正確な記事を書くには正確な取材である。
4. 執筆
新聞会のコンピュータを用いて記事を書く。へ切り取りまでこの作業をのびのびしている。コンピュータの順番待ちや記事の行き詰まりやらで泣くはめになる(かといって早めに書くことしても誰かがゲームをやっていたり

先日も先生が「今まで通りでいいのではなくて、今までよりもっとよいものにしていくべきではないか」とおっしゃった。その言葉は別にこの新聞に対してのものではなかったが、なかなか耳に痛い言葉であった。

実際のところこの新聞も毎年大体同じような内容になりがちである。それどころかいつもと違うことをするのがはかばかされる節さえある。

確かに、マニュアル通りに行うことは楽なことであるが、これだけでは良からず、実現することは滅多にない。

5. 校正
打ち上がった原稿を他の新聞会員に見せ、禁則、誤字脱字、妙な文章、怪しい日本語、意味の食い違い、接続詞、眼界まで伸ばしたにもかかわらず足りない行数などを直してもらおう。他人の力は偉大であるが、記事の打ち直しは自分で行うのが原則である。
6. 印刷
前提として、この日まで5の校正まで仕上がっている
7. 製版
無事に校正をパスしてきた原稿をマスター用紙に切り張りし、新聞としての製版を作る。この時点で行数の過不足が発覚したり、校正済みの記事の所在がわからなくなったりしてパニックにおちいることもしばしば。発行日までの期間が押している、俗に修羅場と呼ばれる事態に突入する。
8. 印刷
部室様一階にある印刷機で印刷する。作業そのものは2

このように会員たちは数々の苦難を乗り越え、新聞を完成させるのである。だが年がら年中このような仕事ばかりをやっているわけではな

新聞会ならではの、それなりに楽しい特典もある(そこには書けないので、裏面の自己紹介を参照、頭に思い浮かんだものが正解だ)。

さて、少しは新聞会というものがおわかり頂けたであろうか。興味を持たれた方は是非一度新聞会室に足を運んで欲しい。会員一同、心より歓迎する。

主で自分のクラスは自分で配る。多くの人に読んでもらうため、できる限り出席率の高い講義時に配布するのがよい。また、余った新聞は回収され、新聞会室の秘密のロッカーに末永く保存される。

9. 発行
主で自分のクラスは自分で配る。多くの人に読んでもらうため、できる限り出席率の高い講義時に配布するのがよい。また、余った新聞は回収され、新聞会室の秘密のロッカーに末永く保存される。

会長あいさつ

欠けないはずであり、それをより良いものにしていくことが必要なのではないかというところだ。当然、可能な限り当然の事である。だがこの当たり前の事が結構難しいものであり、前は結構難しかった。それが変化に慣れ、それまでもりもりと進んでいく。それが、実現する。それが、実現する。それが、実現する。

自分が好んでわたしたちの上でけを歩く大人に成りつこうとすることを改めて実感した。

一刻と変わっていく現代社会において、自分で切り開くとは言わずとも、変化に対応のできる人になりたいたいものである。そして、願わくば皆さんにもその一歩を踏み出してください。

人もいれば充分なのだが、製版の完成が遅れると、印刷室の鍵を保管している執行委員の方が掃き掃除してしまい、泣く泣く発行日を延ばすことになる。

高いコラマである。この「薬味」を読んでも、その入学一年、君は本っ当に運がいい。今回の薬味を読めば、東京薬科大学新聞会である、我が新聞会に入りたいかなということ間違いなしだ。あ、もう一人、早く入会させてもらってほしい。早く入会させてもらってほしい。早く入会させてもらってほしい。

「サントス」東薬で最も名高いコラマである。この「薬味」を読んでも、その入学一年、君は本っ当に運がいい。今回の薬味を読めば、東京薬科大学新聞会である、我が新聞会に入りたいかなということ間違いなしだ。あ、もう一人、早く入会させてもらってほしい。早く入会させてもらってほしい。早く入会させてもらってほしい。



「サントス」東薬で最も名高いコラマである。この「薬味」を読んでも、その入学一年、君は本っ当に運がいい。今回の薬味を読めば、東京薬科大学新聞会である、我が新聞会に入りたいかなということ間違いなしだ。あ、もう一人、早く入会させてもらってほしい。早く入会させてもらってほしい。早く入会させてもらってほしい。



